

IPv4アドレス在庫枯渇対応に関する広報戦略WG

IPv4アドレス枯渇の課題と広報について

株式会社 **インテック・ネットコア** 永見 健一

目次

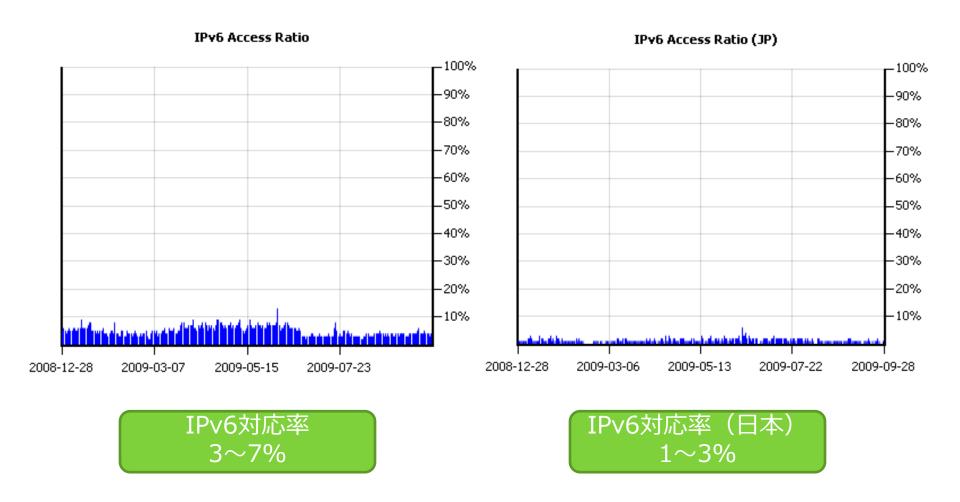


- 1. IPv6に関する統計情報例
- 2. IPv6対応の課題

1.1. 統計情報例 (利用者のIPv6対応率) **i**NetCore



協力いただいているウェブサーバの利用者のIPv6対応率 アクセス数:約70,000アクセス/日



1.2. 統計情報例

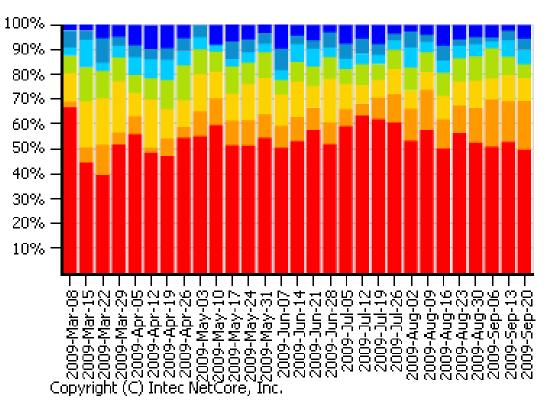
(通信品質IPv4/IPv6)

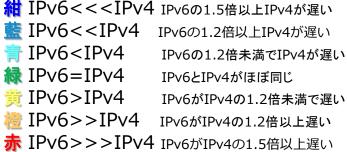


IPv6でアクセス可能な利用者からのIPv4/IPv6アクセス遅延

全体的な傾向として、IPv6の通信遅延は大きい

IPv4 RTT vs. IPv6 RTT (JP)





1.3. 統計情報の把握と分析



- IPv4アドレス枯渇・IPv6に関する定量的な統計情報 の把握が必要
 - 必要な項目は?
 - 取得方法は?
- 課題が存在すれば、分析と対応策が必要
 - 品質は?
 - 原因は?

2.1. コンテンツ提供者のIPv6対応への課題 **NetCore**



- 意思決定者を説得できる材料が少ない
 - コストはかかるがメリットは?
 - いつ導入すべき?
 - 枯渇後の影響は?
 - 既存ユーザに影響を与えずにIPv6化できる?
 - →第3者が作成した説得感のある資料の必要性

2.2. コンテンツ提供者のIPv6対応への課題 **NetCore**



- 冗長構成・運用管理がIPv4と同等に作れない
 - 機器によってはIPv4と同等レベルの冗長構成が作れない
 - 機器のIPv6運用管理機能が不足
 - 運用管理ソフトウェアのIPv6対応がされてない
- レジストラが対応していないところがある
 - IPv6アドレスをDNSに登録できない場合がある

→基本的な導入資料の必要性

2.3. 利用者に影響のある事例



サービス提供方法によって、利用者に影響がある。

- 事例
 - 利用者は、IPv4もIPv6も意識していない
 - 自動的にIPv6を優先
 - ウェブページ表示が遅くなる
- 対応例
 - IPv6の無効化??
 - IPv4を利用できる場合には、IPv4を優先
- 対策
 - 正確な情報を広報する必要があるのではないか?
 - ◆利用者向け:推奨する対応策
 - ◆事業者向け:
 - ❖IPv6でのサービス提供方法
 - ❖IPv6の品質の向上

(ご参考) IPv4アドレス状況ツール: IPv4枯渇時計 iNetCore



- 「IPv4枯渇時計」は、IANAが提供する「IANA IPv4 Address Space Registry」^{※1}とジェフ・ヒューストン氏が公開している 「IPv4 Address Report」^{※2}を基に<u>IPv4アドレスの枯渇状況を可</u> 視化するためのツールです。
- IANAが地域インターネットレジストリ(RIR)へ今後割り振り可能な残りのアドレスブロック数とその割合、枯渇予想日までの日数、残りのIPv4アドレス数の予測を表示しています。
- 日本語、英語、中国語(繁體中文)、韓国語、インドネシア語、フランス語、ドイツ語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語、ウクライナ語の11言語に対応し無償※3公開しています。

 - % 2 · · · http://ipv4.potaroo.net/
 - ※ 3 · · · http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.1/jp/
 - ※ 4 · · · http://www.jate.or.jp/jp/ipv6/index.html

- IPv4枯渇時計URL
 - http://inetcore.com/project/ipv4ec/
 - http://枯渇時計.com/
- ブログパーツ設置コード(クリエイティブ・コモンズライセンス^{※3})
 - <script type="text/javascript" language="javascript"
 src="http://inetcore.com/project/ipv4ec/jaJP/wolf_c.js"></script>



(ご参考) ウェブページアクセスIPv4/IPv6比率可視化ツール Net Core



- 「IPv4/IPv6 meter」は、ウェブページのアクセス ユーザのIPv4/IPv6比率を可視化するためのツールで
- 本ブログパーツを調査対象のウェブページに設置する ことにより、容易に可視化することができます。
- IPv6に対応しているウェブページに設置することに より、ユーザのIPv4/IPv6アクセス比率を把握するこ とができます。
- IPv6に対応していないウェブページに設置する場合 でも、アクセスユーザのIPv6対応率を把握すること ができます。

- IPv4/IPv6 meter URL
 - http://inetcore.com/project/46meter/
- ブログパーツ設置コード(クリエイティブ・コモンズライセンス) 上記URLより取得可能

